

第 16 回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022 募集のご案内

アワードの目的・メリット

◆AI・IoT・クラウドアワードの目的

国内で優秀な「社会に有益」かつ、「安心・安全」なクラウドサービス等を表彰し、クラウドサービス事業者及びユーザ企業・団体の事業発展・拡大を積極的に支援し、クラウドサービスが社会情報基盤として発展確立することを目的に実施します。

◆総務大臣賞（予定）

最優秀のクラウドサービスには総務大臣賞（予定）が授与されます。

◆受賞サービス・企業の公表

受賞サービス及び企業名は、ASPIC ウェブサイト掲載、ニュースリリース並びに各種マスコミを通して広く社会にアピールできます。

◆受賞マークによる営業効果

受賞企業は、賞状と盾が授与され、オフィス・受付等に展示することにより企業イメージアップができ、更に受賞マークをホームページ、会社案内、パンフレット、名刺等に掲載することにより営業効果や認知度向上が図れます。

◆応募企業のメリット

応募企業にはクラウドサービス紹介サービス「アスピック」登録掲載料金、「クラウドサービス情報開示認定制度」審査料金の優遇並びに ASPIC 入会時の優遇があります。



「第 16 回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022」募集要項

一般社団法人日本クラウド産業協会 (ASPIC) は第 16 回 ASPIC IoT・AI・クラウドアワード 2022 を開催します。

本アワードは、クラウドサービス事業者やユーザ企業・団体を対象に、社会に有益かつ、安心・安全なクラウドサービスの普及促進や市場拡大、並びにビジネス支援を目的に 2007 年に創設し、総務省等の後援を得て、2015 年から総務大臣表彰が設けられました。

この間、国や ICT 業界並びにユーザ企業・団体等広く社会に認知され、多くのご応募をいただいてまいりました。

本年も下記要領により IoT・AI・クラウドアワードを開催いたしますので奮ってご応募ください。

1. 応募対象

ASP・SaaS・AI・IoT クラウドサービス及び IaaS・PaaS・データセンター提供事業者並びに上記サービスを利用するユーザ企業・団体とします。

2. 応募部門

応募部門は下記 10 部門です。

応募部門の詳細については、資料 1「クラウド・IoT・AI サービス概念図及び体系図」を参照願います。

①社会業界特化系 ASP・SaaS 部門

②基幹業務系 ASP・SaaS 部門

③支援業務系 ASP・SaaS 部門

④データ活用系 ASP・SaaS 部門

⑤AI 部門

AI (ビッグデータ含む) クラウドサービスを取り扱う ASP・SaaS 及び IaaS・PaaS を対象とします。

⑥IoT 部門

IoT (センサー機器、アクチュエータ含む) クラウドサービスを取り扱う ASP・SaaS 及び IaaS・PaaS を対象とします。

⑦IaaS・PaaS 部門

システム基盤、ネットワーク基盤、開発・実査基盤 (PaaS)、ハード基盤 (IaaS) を対象とします。

⑧データセンター部門

国内に設置されており、かつ自社以外の複数の企業にサービスを提供しているデータセンターとします。

⑨運用部門

データセンターの運用保守を実施しているサービス及びクラウドサービスの運用保守を実施しているサービスを対象とします。

⑩ユーザ部門

国内において、ASP・SaaS・AI・IoT・クラウドサービスを利用しているユーザ企業・団体の部門・分野を問いません。

3. 応募方法

応募には、①アワードへの申込み（応募サービスの名称、応募分野、企業名等）と、②エントリーシートの提出（応募サービスの内容、特長、販売実績等を記載）の2つのフェーズがあります。

（1）アワードへの申込み 締切 **2022年6月19日(日)**

2022年4月20日(水)より、ASPIC ホームページの「アワードへの申込み」（下記 URL）からお申込みください。

<https://www.aspicjapan.org/event/award/16/index.html>

（2）エントリーシートの提出

①エントリーシート入手

「アワードへの申込み」からお申込みいただくと、自動返信メールにて、「エントリーシートの入手方法」及び「ダウンロード用パスワード」が届きますので、エントリーシートをダウンロードしてください。

なお、エントリーシートの内容は、資料2「エントリーシートの記載内容と審査項目」を参照願います。

②エントリーシートの提出 締切 **2022年6月30日(木)**

エントリーシートに必要事項をご記入し、「ASPIC クラウドアワード 2022 事務局」(aspic_award2022@aspicjapan.org)宛にEメールにてお送りください。

（3）応募の完了

事務局からのエントリーシート受領確認メールの送付をもって応募の完了となります。

【注意事項】

- （i）報道発表、並びに表彰状・表彰楯には、エントリーシートに記入された「企業名」、「エントリーサービス名」を使用しますので、記入に当たってはお間違いのないようご注意ください。
- （ii）エントリーシートに記載された「エントリーサービス名」、「サービス概要」は ASPIC ホームページ、ニュースリリース等に掲載させていただく場合がありますことをご了承願います。

4. 応募料

無料

5. 審査方法

① 1次審査

1次審査委員会において、エントリーシートに基づき、記載内容について審査します。

② 2次審査

2次審査委員会において、プレゼンテーション資料、プレゼンテーション、質疑応答等により審査します。なお、プレゼンテーション資料は一次審査通過後に作成・提出していただきます。作成要領につきましては、別途ご案内いたします。

③ 審査員

総務省、外部学識経験者・有識者、公的団体役員、弁護士、マスコミ、ASPIC 会長等により構成されます。

6. 授与賞の内訳

①総務大臣賞（予定）

全部門から1件

- ②アワード総合グランプリ
全部門から1件
 - ③社会業界特化系 ASP・SaaS 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ④基幹業務系 ASP・SaaS 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑤支援業務系 ASP・SaaS 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑥データ活用系 ASP・SaaS 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑦AI 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑧IoT 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑨IaaS・PaaS 部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑩データセンター部門
総合グランプリ／準グランプリ／他各賞
 - ⑪運用部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
 - ⑫ユーザ部門
総合グランプリ／準グランプリ／ベンチャーグランプリ／他各賞
- 各賞の詳細は、資料3「アワード各賞（予定）」を参照願います。

7. 実施スケジュール(予定)

- ①応募期間
 - ・申込み 2022年4月20日(水) ～ 6月19日(日)
 - ・エントリーシート提出締切 6月30日(木) 必着
- ②1次審査(エントリーシートに基づく書類審査)結果通知
8月上旬(予定)
- ③2次審査用プレゼンテーション資料提出締切(1次審査通過の場合)
8月末(予定)
- ④2次審査(プレゼンテーション等による審査)～審査結果通知
9月上旬～10月下旬(予定)
- ⑤表彰式(総務大臣賞等各賞表彰)
11月16日(水) 経団連会館

8. 後援団体(予定 順不同)

- ・総務省
- ・一般財団法人 マルチメディア振興センター
- ・東京商工会議所
- ・一般社団法人 千葉県商工会議所連合会
- ・全国ソフトウェア協同組合連合会
- ・一般財団法人 インターネット協会

- ・一般社団法人 日本情報システム・ユーザ協会
- ・一般社団法人 保健医療福祉情報システム工業会
- ・一般社団法人 社会情報学会
- ・一般社団法人 東京都情報産業協会
- ・一般社団法人 神奈川県情報サービス産業協会
- ・公益社団法人 千葉県情報サービス産業協会
- ・公益社団法人 埼玉県情報サービス産業協会
- ・一般社団法人 日本テレワーク協会
- ・一般社団法人 重要生活機器連携セキュリティ協議会
- ・一般社団法人 ICT CONNECT21
- ・一般社団法人 日本クラウドセキュリティアライアンス
- ・一般社団法人 日本インターネットプロバイダー協会
- ・一般社団法人 熊本県情報サービス産業協会

9. 本件お問合せ先

一般社団法人日本クラウド産業協会（ASPIC）

ASPIC クラウドアワード 2022 事務局

担当 高橋、栗田

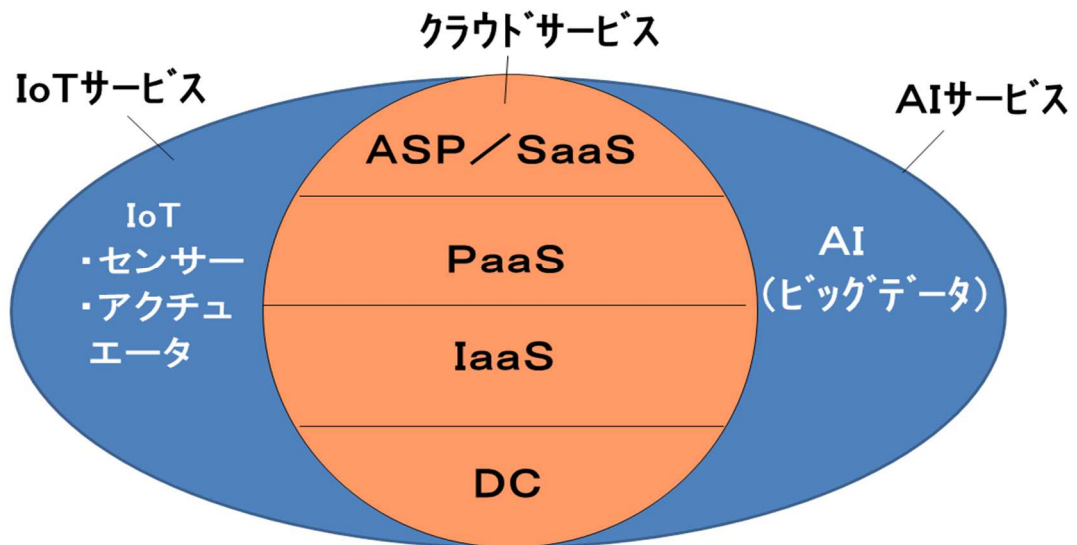
e-mail : aspic_award2022@aspicjapan.org

T E L : 03-6662-6591 F A X : 03-6662-6347

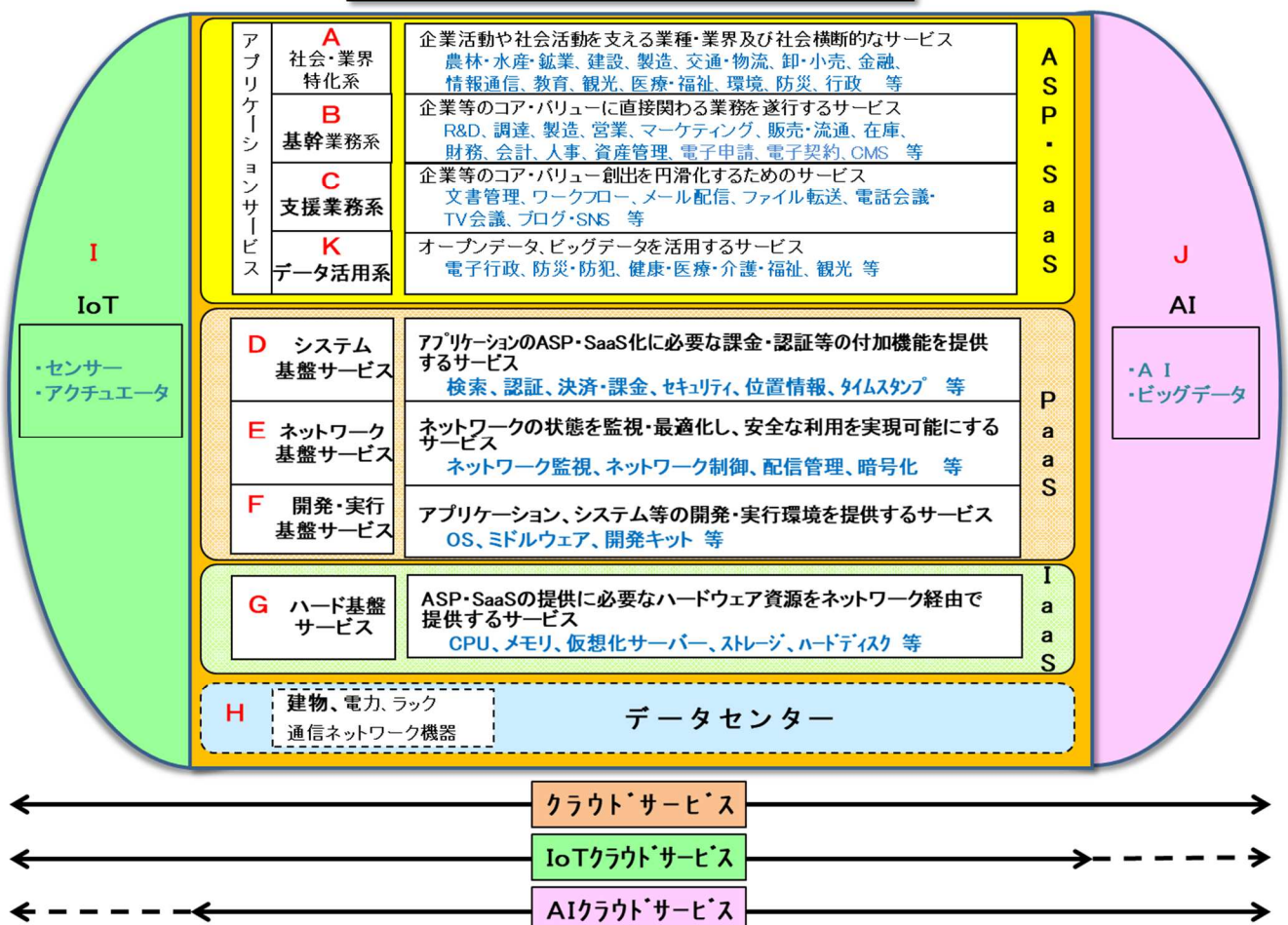
(ASPIC は令和 4 年 2022 年 4 月 1 日に一般社団法人 ASP・SaaS・AI・IoT クラウド産業協会から名称を変更しました。)

クラウド・IoT・AI サービス概念図及び体系図

クラウド・IoT・AI サービス概念図



クラウド・IoT・AIサービス体系図



エントリーシートの記載内容と審査項目

主 な 記 入 項 目	応 募 部 門						
	ASP SaaS 部 門	A I 部 門	IoT 部 門	IaaS PaaS 部 門	DC 部 門	運 用 部 門	ユ ー ザ 部 門
会社概要(資本金、売上、社員数、ベンチャー要件、経営ポリシー 等)	●	●	●	●	●	●	●
エントリーサービス(サービス名、サービス開始時期、サービス概要、詳細、等)	●	●	●	●	●	●	●
アピールポイント	●	●	●	●	●	●	●
安心・安全・信頼性	●	●	●	●	●		●
サービスサポート	●	●	●	●	●		
活用技術	●	●	●	●	●		
連携・拡張性	●	●	●	●	●		●
経営改革・業務革新	●	●	●	●		●	●
チャレンジ	●	●	●	●	●	●	●
プラットフォーム		●	●				
センサー機器		●	●				
データ収集		●	●				
データ活用		●	●				

◆詳細の記入項目はエントリーシートをダウンロードのうえご確認をお願いします。

アワード各賞(予定)

総務大臣賞

アワード総合グランプリ

社会・業界特化系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

基幹業務系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

支援業務系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

データ活用系ASP・SaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

AI部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

IoT部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

IaaS・PaaS部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点のサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れたサービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れたサービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

データセンター部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したデータセンター
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いデータセンター
3. 他各賞	優れた特徴を有するデータセンター

運用部門

1. 総合グランプリ	全評価項目の最高得点を獲得したサービス
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いサービス
3. ベンチャーグランプリ	ベンチャー企業による優れた運用サービス及び サービス開始間もない将来性の高い優れた運用サービス(企業規模は問わず)
4. 他各賞	優れた特徴を有するサービス

ユーザ部門

1. 総合グランプリ	全評価項目で最高得点を獲得したユーザ企業
2. 準グランプリ	全評価項目で評価の高いユーザ企業
3. ベンチャーグランプリ	クラウドサービスの利用により優れた成果を上げたベンチャー企業
4. 他各賞	優れた特徴を有するユーザ企業

《参考》

＜ベンチャー企業＞

独自の技術や製品で成長していく企業を「ベンチャー企業」とし、新たに起業され、創業間もない企業を対象とし、下記のうち2つ以上該当することとします。

- ① ベンチャーキャピタルから出資を受けている会社。
- ② 経済産業省・地方自治体などから、指定ベンチャーの認定を受けている会社。
- ③ オリジナルの技術・ビジネスモデルを確立していて、市場参入している会社。
- ④ 中小企業法に定められる、サービス業で資本金の額又は出資の総額が5千万円以下の会社、又は、常時使用する従業員の数が100人以下の会社。
- ⑤ 設立5年以内の会社。